

1. 件名：検査制度見直しに関する原子燃料工業株式会社との試運用に関する面談
2. 日時：令和元年10月4日（金） 10：00～10：20
3. 場所：原子燃料工業株式会社 熊取事業所 事務棟 緊急対策本部室
4. 出席者：  
原子力規制庁  
熊取原子力規制事務所 渡辺所長、横山原子力運転検査官、内海原子力運転検査官  
原子燃料工業株式会社  
熊取事業所 環境安全部長 他17名
5. 要旨
  - (1) 4月1日から開始している原子燃料工業株式会社（以下、「原子燃料工業」という。）熊取事業所での新検査制度の試運用について、原子力規制庁から、配布資料（1）に基づき、日常検査に係るこの四半期の検査報告書の記載内容を説明したうえで、原子力規制庁と原子燃料工業とで、意見交換を以下のとおり行った。
  - (2) 原子燃料工業から、第2四半期における検査結果の内容について特に意見はなかった。
  - (3) 原子力規制庁から、第3四半期からのフェーズ3では、実用炉との統合版検査ガイドを使用して原子炉規制検査を実施すること及び毎月実施していた振り返り面談等の月例会議はなくなり、四半期ごとの締めくくり会議だけとなったことについて説明し、認識を共有した。
  - (4) 原子燃料工業から、定期自主検査に該当するガイドがないがどのように確認するのかについて質問があり、例えば検査計画については、品質マネジメントシステムの運用ガイドによって確認し、検査作業については、作業管理ガイド等実際の作業に適したガイドによって確認することについて説明を行い、認識を共有した。
6. 配布資料
  - (1) 原子燃料工業株式会社 熊取事業所 令和元年度（第2四半期） 原子力規制検査報告書（案）